

平成27年度 安芸高田市の「仕事目標」

本年6月にホームページへ掲載しました安芸高田市の「仕事目標」に対する上半期の進捗状況を次のとおり公表します。

| 当部署名 | | 事務事業名 | 事業概要 | 目 標 | 上半期進捗状況 |
|------|-------|--------------|--|--|---|
| 総務部 | 総務課 | マイナンバー制度導入事業 | <p>マイナンバー制度の構築は、国民一人一人に個人番号を割り振ることにより、複数の機関に存在する個人の情報を、有益にかつ公平、公正に利用することで、国民の利便性を高めることを目的としています。</p> <p>平成25年5月に関連4法が成立、公布され、利用開始に向け地方自治体を含め国などの関係機関で諸準備が進められています。</p> | <p>平成26年度に引き続き「税情報」「宛名管理」「住民情報」に係る電算システムの改修を進めると同時に、「福祉医療」関係のシステム改修に取り組みます。</p> <p>また、平成27年10月から始まる個人法人番号の通知及び平成28年1月から始まる個人カードの交付について、円滑な導入に向け啓発に力を入れます。</p> <p>併せて市独自の利活用についても、引き続き庁内組織により検討を進めます。</p> | <p>各業務システムにおいて番号制度対応の改修を行い、住基ネット及び住民票システムでの個人番号の仮付番作業や後期高齢者医療システムでの広域連合との連携テストを実施しました。</p> <p>また、やむを得ない理由により住民票の住所地で受け取ることができない方への「居所情報登録申請」や通知カードの送付に伴う広報活動を行いました。引き続き、制度の理解及び普及に向けた啓発に努めていきます。</p> <p>市独自の利活用については、PT（プロジェクトチーム）会議において検討を進めていきます。</p> |
| | 企画振興部 | 政策企画課 | 連携中枢都市圏制度事業 | <p>コンパクト化とネットワーク化により活力のある社会経済を維持するための拠点を形成することを目的に、連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結し、連携中枢都市圏ビジョンを策定します。</p> | <p>「連携中枢都市圏」制度を活用した広島市と連携協約締結に向けた調整を行い、市議会において連携協約の議決を経たのち、連携協約を締結します。</p> |
| | 財政課 | 地方版総合戦略策定事業 | <p>国のまち・ひと・しごと創生長期ビジョン及び国のまち・ひと・しごと創生総合戦略を勘案しつつ、安芸高田市の人口の現状と将来の展望を提示する「安芸高田市人口ビジョン」を策定し、これを踏まえて、今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。</p> | <p>「安芸高田市人口ビジョン」「安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年10月末までに策定します。</p> | <p>安芸高田市まち・ひと・しごと創生「総合戦略懇話会」「推進本部」「ワーキンググループ」を設置し、安芸高田市人口ビジョン、安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の作成について協議し、安芸高田市人口ビジョン（案）、安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）を作成しました。</p> <p>総合戦略懇話会 2回開催 推進本部会議 6回開催 ワーキンググループ会議 3回開催</p> |

| 当部署名 | | 事務事業名 | 事業概要 | 目 標 | 上半期進捗状況 |
|------|-------|-------------------------|--|--|--|
| 市民部 | 環境生活課 | ごみ減量化対策事業 (資源ごみ補助事業) | <p>① 芸北きれいセンターに持ち込まれるゴミ処理量を前年度より削減するため、地域団体による資源ごみの回収を促進します。</p> <p>② ごみの資源化を促進するため、モデル地区を定め、分別項目の増加を目指します。</p> <p>③ ごみの減量化を図るため、生ごみ処理機を普及し、事業所系一般廃棄物の排出削減のための啓発と資源化を図ります。</p> | <p>① 紙・アルミ缶・スチール缶・ペットボトル・衣類・廃食油の地域団体による資源回収で、芸北きれいセンターのごみ処理量を 800 t 減少させます。</p> <p>② 不燃ごみの中の、ビン類の色分け、小型廃家電、鉄くず、電気コードなどの分別を増やしたり、粗大ごみから使用可能なものを再利用する仕組みを研究し、モデル地域を定めて試行・検証を行います。</p> <p>③ 生ごみ処理機 50 台の普及を目指します。</p> | <p>① 地域団体の資源回収（9月30日現在の申請分） 301.9t（800t に対し進捗率 37.7%） 古紙 265.3t、アルミ缶 16.1t、スチール缶 7.5t、ペットボトル 10.7t、布類 2.4 t 廃食油：600 リットル 資源回収団体数 146 団体</p> <p>② ごみの再資源化を促進するため、モデル地域を定めて分別数を増やす「エコタウンモデル事業」の実施準備中です。</p> <p>③ 生ごみの減量化のため、生ごみ処理機 8 台（16%）の購入補助を実施しました。また 25 名のモニターを募集し「竹チップ de 生ごみコンポスト運動」を実施しました。</p> |
| | 福祉保健部 | 子育て支援課 | 24 時間 保 育 充 実 事 業 | <p>① 発達の遅れに関する支援ニーズが増加し、こども発達支援センターの必要性は益々増大する中、保護者のみなさんから「参加して本当に良かった」と言われる教室活動の継続実施を目標として、相談支援体制の強化を図ることで、子育て環境の充実に繋がります。</p> <p>② ファミリーサポートセンター事業（依頼会員と提供会員による子育ての援助活動・24 時間の子育て応援）の協力者を増やし、24 時間保育支援の充実に繋がります。</p> | <p>① こども発達支援センター運営事業 安芸高田市こども発達支援センターの相談業務、親子教室等各教室を充実します。</p> <p>② ファミリーサポートセンター事業 会員による 24 時間の子育て応援（預り）ができるファミリーサポートセンターの提供会員を 10%（9 人）増員し、サービス提供の充実に繋がります。</p> |

| 当部署名 | | 事務事業名 | 事業概要 | 目 標 | 上半期進捗状況 |
|-------|-----------------|---------------------|--|--|--|
| 福祉保健部 | 保健医療課 高齢者福祉課 | 市民総ヘルパー推進事業（健康倍増計画） | 行政と市民の自助・共助・公助の役割を明確にしなが、旧来の「もやい」の精神を復活し、医療・福祉・介護などに要する費用を少しでも抑制できるよう、市民全体の協力により行政を補完して頂く取組である「市民総ヘルパー構想」に基づき、市民の健康寿命延伸を目指し、若年性生活習慣病予防事業をはじめとする各種事業を実施します。 | <p>①介護予防普及啓発事業 「物忘れプログラム」を活用した認知症予備軍の早期発見及び重症化防止、予防のための事業計画の検討を行います。</p> <p>②若年性生活習慣病予防事業 生活習慣病予防の一環として市内13小学校の4年生を対象とした健康学習及び血液検査を実施します。ただし、血液検査は希望者に実施する予定です。</p> <p>③健康あきたかた21推進事業 市民の健康増進と生活習慣病の増加に伴う医療費抑制のために、地区組織を活用し、自分の健康を自己管理できる人を増やすための取組を継続実施します。</p> <p>④生活習慣病重症化予防事業 糖尿病や糖尿病性腎症で治療中の方が事業に参加し、病気の重症化や合併症を防ぎ、自己管理できるように支援を行います。</p> | <p>①介護予防普及啓発事業 8月から向原町坂上地域を対象とした月1回の認知症予防教室を開催しています。「物忘れ相談プログラム」活用などで評価を行い、来年度事業計画の検討を行う予定です。</p> <p>②若年性生活習慣病予防事業 進捗率 60% 市内13小学校4年生に健康学習を実施し、242人中209人（86.3%）の血液検査を実施しました。</p> <p>③健康あきたかた21推進事業 進捗率 70% 5月に禁煙週間、6月に食育月間、8月に成人式、9月に自殺予防週間・健康増進普及月間で啓発を行いました。また、6月には、健康フェスタ2015を開催（参加者数750人）しました。さらに、5月、6月、9月にこまめに歩こう会を開催し、延べ200人の参加がありました。あるきんさい・うごきんさい運動登録者は、9月現在209人に達しています。</p> <p>④生活習慣病重症化予防事業 進捗率 50% 平成25年度、26年度修了者のうち、特に重点的にフォローの必要な49人に対し、個別支援を実施しています。また、新規に38人に対して6か月間の個別支援プログラムを実施しています。</p> |
| | 産業振興部 | 地域営農課 | ジビエ特産化推進事業 | 有害鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、有害鳥獣を資源として活用する機運を高め、ジビエの特産化を推進します。 | 食肉処理施設における解体と販路の開拓を推進し、解体数を200頭以上、販売額300万円以上を目標とします。 |

| 当部署名 | | 事務事業名 | 事業概要 | 目 標 | 上半期進捗状況 |
|-------|-------|-------------------------|---|---|---|
| 産業振興部 | 地域営農課 | 農産物6次産業化事業 | 調理用トマト及び辛味大根の試験栽培を行うとともに、定期的な検討会議を開催し生産・加工・流通ルートの確立を目指します。 | 2か月に1回の検討会議を実施するとともに、成果物を利用した加工品の試作を行います。 | 6次産業化プロジェクト会議を立ち上げ、月1回の会議を開催。調理用トマト試験栽培（約10a）を行い、毎週JA、地域おこし協力隊員による生育調査を行いました。調理用トマト収穫後、加工業者によるピューレ試作を行い、改良・活用について検討を行っています。 |
| | 商工観光課 | サテライトオフィス・企業誘致事業 | 安芸高田市の空き公共施設等を活用したサテライトオフィス・企業の誘致に向け、ふるさと応援の会、市内立地企業及び広島県関係行政機関等と連携し、プロモーション活動を行います。 | 本市の魅力をPRできるプロモーション用パンフを作成するとともに、15社へプロモーションを行います。 | サテライトオフィス、起業支援に係る制度構築を検討するため、市内先進企業等を訪問し聞き取りを行いました。上記内容を考慮し、ふるさと応援の会関東地区等と意見交換を行いプロモーション用パンフの作成を行います。 |
| 建設部 | 住宅政策課 | 住宅対策充実事業（空き家バンク関係事業） | 空き家実態調査・所有者等への意向調査を基に、空き家バンクへの登録促進及び利用者登録を進めます。「空き家対策協議会」を設置し、空き家の適正管理及び活用について空き家対策基本方針・対策計画を策定します。 | 空き家の活用目標を50件以上とします。 | 空き家対策協議会設置に向けた「庁内検討委員会」を組織し、「空き家対策基本方針」の素案を策定中です。空き家活用について、9件成立しました。 |
| | 建設課 | 幹線道路整備事業（東広島高田道路整備促進事業） | 【東広島高田道路】 ・吉田側 橋梁上部工事、本体盛土工事 下流排水対策(用地測量・用地売買契約) ・正力側 ボックスカルバート工事、側道整備工事 | 地域高規格道路東広島高田道路の早期の完成を目指し、広島県と連携を密にして着実に事業を推進します。 | (吉田側) 側道工事・護岸工事を発注しました。 (正力側) ボックスカルバート設置工事を発注しました。 |
| | 上下水道課 | 水道整備事業（水道・簡易水道建設改良事業） | 未給水区域の解消については、ボーリング等の補助により対応しておりましたが、吉田町の水利を利用するなど、水源を確保することにより未給水区域の解消事業に着手しました。 今年度は、美土里町本郷・横田地区の水道施設の整備を進め、安芸高田市全体の水道の普及率の向上を目指します。また、簡易水道事業等の水道事業への統合を進め、新たな水源の確保と連絡管の整備、施設の統廃合を検討します。 | 【美土里町本郷・横田地区】 ・機械、電気計装設備 ・水道管布設工事 L=9,600m 水道普及率76.0%以上を目指します。 | 【美土里町本郷・横田地区】 機械、電気計装設備整備工事2件を発注しました。 水道管布設工事4,539mを発注しました。 加入戸数は291戸を予定しています。 |

| 当部署名 | | 事務事業名 | 事業概要 | 目 標 | 上半期進捗状況 |
|----------|-------|-------------|--|--|--|
| 教育委員会事務局 | 学校教育課 | 学力向上推進事業 | 学習補助員等の配置によるきめ細やかな教育環境の提供、教員の授業力向上、「安芸高田市学力向上戦略」策定等の取組をとおして、小中学校児童生徒の確かな学力を定着させます。 | 平成 28 年 6 月に実施される広島県「基礎・基本」定着状況調査における通過率 60%以上の児童生徒の割合を 80%以上にします。 | <p>学習補助員等については、配置基準に基づき、現在 6 名を配置しています。</p> <p>教員の授業力の向上を図るため、「複数校の協働による授業づくり」の研修を、年間を通して実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究主任研修 2 回実施（年計画 4 回）。 ・中学校区ごとの研修 24 回実施（年計画 52 回）。 <p>また、「学力向上戦略」の策定に向けて現在、計画の素案を作成しています。</p> |
| | 教育総務課 | 学校規模適正化推進事業 | 安芸高田市の少子化が急速に進展する中において、特に課題となる小学校の過小規模校化の解決を重点として、将来的な展望のある教育環境の整備を目的に規模適正化を推進します。 | 小学校の統合協議を継続し、課題整理を行う中で合意形成を図るとともに、現「推進計画」の見直しを図ります。 | <p>小学校の統合協議は、統合区ごとに目標を定めて、引き続き合意形成できるよう準備委員会・専門部会を開催して協議を進めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八千代地区準備委員会 1 回開催 ・八千代地区総務部会 5 回開催 ・甲田地区 総務部会 8 回開催 <p>また、現「推進計画」の見直しは、素案の検討を行っています。</p> |